

事業内容詳細

- 1 事業名 地域密着型協働プラスチック資源循環促進事業
- 2 応募者名 一般社団法人全国清涼飲料連合会
- 3 内容

(1) 目的

- ① 自治体及びその中にあるそれぞれの地域との連携を更に進め、ペットボトルを資源としてより多く、きれいな状態で回収することで、ペットボトルの水平リサイクル（以下、ボトルtoボトル）を実現する。更には、東京都が目指すゼロエミッション、CO2排出抑制に繋げる。
- ② 街中にある自動販売機横に業界統一新機能リサイクルボックスを設置して、ボックス内の異物削減の実証実験及び啓発活動を行うことで、周辺の飲料容器の散乱防止及び削減に繋げ、街中から川、海への流出を抑制する。
- ③ 自治体ならではの啓発方法（ホームページ、区報、区のゴミ選別アプリ等）により、区民に幅広く啓発し、区民に飲料容器の分別やペットボトルのリサイクルに関する意識を醸成する。

(2) 本事業の取組内容

- ① 都内自治体内の商店街や事業会社等において、ペットボトル3分別用のリサイクルステーション(4連のリサイクルボックスからなる集合体)を設置して、ペットボトルの3分別(*)の実証実験及び啓発活動を実施する。3分別及び異物削減の状況を検証した上で、ボトルtoボトルに向けた対策に繋げていく。
- ② 都内自治体内の商店街や事業会社において、自動販売機横に業界統一新機能リサイクルボックスを設置して、その周辺の散乱防止に向けた実証実験及び啓発活動を実施する。実施前と実施後とで、異物削減状況やリサイクルボックス周辺の散乱状況を定点観測し、その効果を検証する。
- ③ 都内自治体内の協力を得て、区のホームページや区報、ごみ分別アプリ等を活用するとともに、イベントや環境学習としての出前授業等により、区民のリサイクルに対する意識の醸成を図る。(*) 飲み終わったペットボトル飲料をペットボトル本体とキャップ、ラベルに分けて回収すること。

(3) 期待される効果

- ① ペットボトル3分別用のリサイクルステーションによる実証実験及び啓発を通して、区民のペットボトルに対するリサイクル意識が向上し、より品質の高いペットボトルが回収でき、ボトルtoボトルに繋がる。
- ② 自動販売機横に業界統一新機能リサイクルボックスを設置して、ボックス内の異物の削減を図り、その周辺の散乱を防止及び削減することで、散乱ごみの海への流出を抑制するとともに、ペットボトルを資源としてより多く、きれいな状態で回収することで、サーキュラー(循環)&エコロジカル(地球との共生)・エコノミーを実現していく。
- ③ 今後、都内自治体内の他企業や都内のその他の自治体において、区民への啓発や公共施設、事業会社、商店街へも同様に展開を拡大することができる。

(4) 実施体制と各社役割

